

オンライン対応オリジナル研修コース一覧

M&Iコンサルティング

2025年2月

カテゴリー	No	コース名	研修概要	日数
デジタル・DX	1	ゼロからの生成AI入門	AI（Artificial Intelligence）に関する知識をお持ちでない方を対象にAI全般知識・生成AIに関する概要を理解できるコースです。AIを仕事にどう生かせるかがこれからの企業経営を左右する時代に入ります。特に生成AIは従来の識別系AIに比較し、現場の業務プロセスを大きく変える可能性があります。この研修ではAI・生成AIの基礎知識を学んだうえで生成AIに関連する技術、テキスト生成AIを使いこなすためのプロンプト・エンジニアリング、生成AI利用時の留意点に関してコンパクトに身につけることができます。	1
	2	DX実現のための新規事業開発入門	IPAの『DX動向2024』によれば、日本のDXは、アナログ・物理データのデジタル化（デジタイゼーション）や業務の効率化による生産性の向上（デジタイゼーション）は進んでいますが、新規製品・サービスの創出や顧客起点の価値創出によるビジネスモデルの根本的な変革などを行うデジタルトランスフォーメーションには至っていないというのが現状です。これを打破していくにはデジタル技術を活用した新規事業開発が必要です。この研修では新規事業開発のプロセスを理解したうえで、そのファーストステップである新規事業市場機会の発見を既存製品・サービスから発見する方法とデザイン思考を活用して発見する方法を習得することができます。	1
	3	DXリテラシー入門	「働き手一人ひとりが『DXリテラシー』を身につけることで、DXを自分事とらえ、変革に向けて行動できるようになる」ことをねらいに、2022年3月に経済産業省から『DXリテラシー標準Ver1.0』が公開されました。しかし、これには多くの学習項目が挙げられているため、この内容をすべて詳細に学ぶには多くの時間が必要になります。このコースでは『DXリテラシー標準Ver1.0』をベースに、DXの概要、DXに必要なデータ・技術の概要、DXに必要な考え方を短時間でコンパクトに学ぶことができます。	1
	4	データサイエンス入門	膨大なデータを収集して傾向など分析し、社会やビジネス課題の解決につなげるデータサイエンスがデジタル時代を生きる社会人のリテラシーとして必要な時代になっています。このコースでは、いま求められているデータサイエンスの基礎知識をコンパクトに身につけることができます。データサイエンスシステムの概要・全体構成・構成要素、データ分析に必要な統計解析や機械学習の概要を理解することができます。	1
	5	デジタル技術超入門（ビッグデータ／IoT編）	ITに関する主要な最新技術・キーワードをコンパクトに理解するためのコースです。データ活用面でのキーワードであるビッグデータ・IoTの定義・必要性・分類・活用のメリット・デメリットを理解することができます。	0.5
	6	デジタル技術超入門（クラウド／アジャイル編）	ITに関する主要な最新技術・キーワードをコンパクトに理解するためのコースです。システム環境面・開発面での最新技術・キーワードであるクラウド・コンピューティング・パッケージ・アジャイル・超高速開発ツールの定義・必要性・分類・活用のメリット・デメリットを理解することができます。	0.5
	7	デジタル技術超入門（AI・人工知能編）	AI（Artificial Intelligence：人工知能）全般の技術概要を理解できるコースです。AIはいま第3次ブームを迎えているといわれています。様々な分野でAIが活用され、その活用分野は広がりつつあります。しかし、いま、AIで活用されている技術は、第3次ブームで注目されているものだけではなく、第1次ブーム、第2次ブームで注目された技術が発展したものも多くあります。これらAI全般の技術概要や活用例をご紹介します。	0.5
	8	デジタル技術超入門（DX編）	デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進することが各企業で求められています。国としてもDX推進をするため、2018年9月には経済産業省から「DXレポート～ITシステム『2025年の崖』の克服とDXの本格的な展開～」が発表されました。その中で、複雑化・老朽化・ブラックボックス化した既存システムが残存した場合、2025年以降の経済損失は最大12兆円になり、ユーザ企業はDXに対応できずにデジタル競争の敗者になるとい「2025年の崖」が提唱され、ユーザ企業、IT企業の対応が求められています。このコースでは、DXの定義、DXレポートの概要から、DX推進に関する日本の現状と課題を理解し、「2025年の崖」に落ちないための経営戦略・ITシステムにおける克服法を理解します。	0.5
	9	SEのためのデジタルシステム入門（IoT編）	IoTシステムを、これから設計・開発する方を対象に、IoTシステムの全体像、構成する各要素の基礎知識を短時間で習得することができるコースです。IoTシステムを設計・開発するうえで、自分の担当する部分だけを理解したのでは最適なシステムを構築することはできません。IoTシステム全体および構成する各要素に関する基礎知識を身につけておく必要があります。このコースでは、IoTシステムを構成するデバイス、ネットワーク、クラウドに関する基礎知識を身につけることを目的としています。	0.5

カテゴリー	No	コース名	研修概要	日数
デジタル・DX	10	SEのためのデジタルシステム入門（ビッグデータ分析編）	ビッグデータ分析システムを、これから設計・開発するエンジニアの方を対象に、ビッグデータ分析システムの全体像、分散処理、構成する各要素の基礎知識を短時間で習得することができるコースです。 ビッグデータ分析システムには、ビッグデータをどう統計解析するかを考えるデータサイエンティスト、ビッグデータ分析全体をシステム化するエンジニア、ビジネスにビッグデータ分析をどう生かすかを考えるデータビジネスの3種類の人材が必要です。このコースはエンジニアを育成するためのコースであり、データサイエンティスト入門講座ではありませんのでご注意ください。 ビッグデータ分析システムを設計・開発するうえで、自分の担当する部分だけを理解したのでは最適なシステムを構築することはできません。ビッグデータ分析システム全体および構成する各要素、ビッグデータ分析に不可欠な分散処理に関する基礎知識を身に付けておく必要があります。このコースでは、ビッグデータ分析システムを構成するビッグデータ収集、蓄積、活用、メタデータ管理及び分散計算、分散ストレージに関する基礎知識を身につけることを目的としています。	0.5
	11	SEのためのデジタルシステム入門（機械学習・ディープラーニング編）	機械学習・ディープラーニングシステムを、これから設計・開発するエンジニアの方を対象に、機械学習・ディープラーニングシステムの概要、構築方法、代表的なアルゴリズム、コア技術などの機械学習・ディープラーニングシステムの基礎知識を短時間で習得することができるコースです。 機械学習・ディープラーニングシステムは、AI技術者だけで構築できるものではありません。機械学習・ディープラーニングシステムを理解したSEが必要となります。このコースはこのSEを育成するための入門講座です	0.5
	12	SEのためのデジタルシステム入門（アジャイル編）	企業を取り巻く環境の変化が激しいため、デジタルシステムも変化に迅速に対応することが求められています。これを実現するのがアジャイル開発です。このコースではアジャイル開発の基礎知識を身に付け、アジャイル開発の各手法・アジャイル開発に対応した運用であるDevOpsの概要を理解することができます。	0.5
	13	SEのためのデジタルシステム入門（AWS・Azure編）	システム開発においてクラウドコンピューティングを活用することが多くなっています。しかし、クラウドコンピューティングはサービスとして提供されるため、サービス提供会社によって内容が異なり、サービス内容を十分理解してから活用する必要があります。 このコースでは、主力クラウドコンピューティングサービスであるAWS (Amazon Web Services)とMicrosoft Azureの概要とこれらの違いを理解することができます	0.5
	14	デジタル戦略入門	デジタル戦略に関する基礎知識をコンパクトに学ぶことができるコースです。デジタルトランスフォーメーション、事業のデジタル化が求められる中で、デジタル技術を活用した経営戦略であるデジタル戦略が重要となっています。 このコースでは、デジタル戦略の定義・位置づけ、デジタル戦略のゴールである経営ビジョンの考え方を理解したうえで、デジタル戦略立案方法を理解することができます。	0.5
	15	デジタル戦略入門（1日版）	デジタル戦略に関する基礎知識をコンパクトに学ぶことができるコースです。デジタルトランスフォーメーション、事業のデジタル化が求められる中で、デジタル技術を活用した経営戦略であるデジタル戦略が重要となっています。 このコースでは、デジタル戦略の定義・位置づけ、デジタル戦略のゴールである経営ビジョンの考え方を理解したうえで、デジタル戦略立案方法を理解することができます。 3時間コースの内容に、「4. デジタルディストラクター対策から考える経営ビジョン」の章と、2つの演習を加えました。	1
IT戦略・企画・ITコンサルティング	16	IT戦略入門	IT戦略に関する基礎知識をコンパクトに学ぶことができるコースです。 経営戦略とIT戦略の位置づけ、IT戦略立案のステップを理解することができます。	0.5
	17	経営戦略入門	経営戦略に関する基礎知識をコンパクトに学ぶことができるコースです。経営戦略の定義・位置づけ、代表的な経営戦略論を理解したうえで、経営戦略立案方法を理解することができます。	0.5
	18	経営戦略入門・IT戦略入門	経営とシステムとは密接な関係があり、システムなしでは事業活動を行うことは難しい状態にあります。そのため、経営目線でのIT戦略が必要とされています。 このコースでは、経営戦略とIT戦略の企業における位置づけ、代表的な経営戦略論を理解したうえで、経営戦略立案のステップ、IT戦略立案のステップを理解することで、経営に有効なIT戦略作りの基礎知識を身に付けることができます。	1
	19	やってみよう！システム企画～システム企画の基礎知識～	システム企画方法、システム企画に必要な知識・スキル・方法を学ぶコースです。IT部門に対する企業内の期待で最も高いのがシステム企画です。しかし、システム企画のできる方はユーザ企業・IT企業ともに不足しています。このコースでは、システム企画とは何かを理解していただいたうえで、システム企画方法、システム企画に必要な知識・スキルを理解していただくことで、システム企画力を育成します。	1

営業・マーケティング (マーケティング担当者向け)	20	マーケティングの基礎知識	マーケティングに関する基礎知識を習得するコースです。 マーケティングの定義から、STP戦略、マーケティング・ミックス立案に必要な知識を習得します。	1
------------------------------	----	--------------	---	---

カテゴリー	No	コース名	研修概要	日数
業務知識	21	ここから始める！ システム開発者のための業務知識基礎（会計編）～業務知識不足を嘆く前に～	会計についてこれから学習する方を対象に、会計とは何かから、財務会計と管理会計の基礎知識を習得していただくことを目的としています。	1
	22	ここから始める！ システム開発者のための業務知識基礎知識（販売・購買・在庫・生産管理編）～業務知識不足を嘆く前に～	販売・購買・在庫・生産管理業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して、理解していただくことを目的としています。	1
	23	ここから始める！ システム開発者のための 5 大業務知識基礎～会計・販売・購買・在庫・生産管理業務の基礎～	基幹系業務である会計・販売・購買・在庫・生産管理業務についてこれから学習する方を対象に、各業務の流れや関連する用語など、基礎知識を習得していただくことを目的としています。	2
	24	ここから始める！ 業務知識の基礎（会計編）	会計業務についてこれから学習する方を対象に、各業務の流れや関連する用語など、基礎知識を習得していただくことを目的としています。	0.5
	25	ここから始める！ 業務知識の基礎（購買・在庫編）	購買・在庫業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して、理解していただくことを目的としています。	0.5
	26	ここから始める！ 業務知識の基礎（販売編）	販売業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語、さらに、販売業務プロセス改革のポイントに関して理解していただくことを目的としています。	0.5
	27	業務プロセス改革とシステム化（会計編）～改革しよう！ 会計業務～	会計業務および会計システムの概要を理解したうえで、会計業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得します。	1
	28	業務プロセス改革とシステム化（販売・購買・在庫編）～改革しよう！ 販売・購買・在庫業務～	販売・購買・在庫業務および販売・購買・在庫システムの概要を理解したうえで、業務プロセス改革のポイントに関する知識を習得します。	1
	29	業務知識の基礎と改革のポイント（会計編）	会計業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して理解したうえで、会計システムの概要と業務プロセス改革のポイントに関した知識を習得することを目的としています。	2
	30	業務知識の基礎と改革のポイント（販売・購買・在庫編）	販売・購買・在庫業務に関して知識のない方を対象とし、業務の流れと必要な用語に関して理解したうえで、各業務システムの概要と業務プロセス改革のポイントに関した知識を習得することを目的としています。	2
	31	ここから始める！ システム開発者のための銀行業務知識基礎	銀行業務についてこれから学習する方を対象に、銀行業務とは何かから、預金・貸付・為替（内国・外国）の 3 大業務の基礎知識を習得していただくことを目的としています。	1

カテゴリー	No	コース名	研修概要	日数
デザイン思考	32	デザイン思考とシステム企画開発	オンライン研修環境でも実施可能なシステム企画開発者向けデザイン思考研修コースです。新しい製品・サービス・システム作りに、デザイン思考の活用が注目されています。しかし、デザイン思考を学んでも考え方は理解したが、システム開発の中でどう活かしていったらわからないという声をよく耳にします。これを解消するために、このコースでは、デザイン思考の基礎知識や発想プロセスで活用できる各種メソッドを理解したうえで、デザイン思考を活用したシステム企画開発（ウォーターフォール型、アジャイル型）の各プロセスをご理解いただけます。	1
システム思考	33	システム思考入門 ～因果ループ図を活用した 問題解決～	対象をシステムとして分析するシステム思考は、局所的解決になりやすいロジカルシンキングを超えて、全体をとらえた解決策を考えやすくします。しかし、システム思考の理論は理解したが、実際の問題解決に活用する方法がわからないという方が多いです。 このコースでは、システム思考の概要、ロジカルシンキングとの違いを理解したうえで、演習を通してシステム思考の活用方法を身に付けていただくことができます。	1
ロジカル・シンキング	34	問題解決のためのロジカル・シンキング入門	問題解決のためのロジカル・シンキングを理解し使えるようになるためのオンライン対応コースです。 ロジカル・シンキングを問題解決に使用するために、必要な代表的なツールであるロジックツリーやフレームワークを理解し使えるようになります。また、問題解決ステップの中で、ロジカル・シンキングと併用して使用すべきベース思考、仮説思考、オプション思考も理解することができます。	1
論理的なヒューマンスキル	35	論理的に話す技術	わかりやすく話すための技術を身に付けることができるコースです。論理的な話し方の基本テクニック、聞く技術、応用テクニックを学び、実践してみることで、論理的でわかりやすく話すことができるようになります。	2
	36	論理的に話す技術（1日版）	わかりやすく話すための技術を身に付けることができるコースです。論理的な話し方の基本テクニック、聞く技術を学び、実践してみることで、論理的でわかりやすく話すことができるようになります。	1
	37	論理的に文章を書く技術	わかりやすい論理的な文章を書くための技術を身に付けることができるコースです。論理的な文書の構造を理解したうえで、論理的な文章を書く手順に沿って、実際に文章構造を設計し、文章を書くことで、読み手にとってわかりやすい論理的な文章を書くことができるようになります。	2
	38	論理的に文章を書く技術（1日版）	わかりやすい論理的な文章を書くための技術を身に付けることができるコースです。論理的な文章の構造を理解したうえで、論理的な文章を書く手順に沿って、実際に文章構造を設計し、文章を書くことで、読み手にとってわかりやすい論理的な文章を書くことができるようになります。	1
	39	わかりやすい日本語を書く技術	日本語で、わかりやすい文章を書くために必要な技術を身に付けることができるコースです。日本語の特徴や日本文化の特徴から、文章をわかりにくくしている原因を理解し、解消策を学ぶことで、わかりやすい文章を日本語で書くことができるようになります。	2
	40	わかりやすい日本語を書く技術（1日版）	日本語で、わかりやすい文章を書くために必要な技術を身に付けることができるコースです。日本語の特徴や日本文化の特徴から、文章をわかりにくくしている原因を理解し、解消策を学ぶことで、わかりやすい文章を日本語で書くことができるようになります。	1
	41	論理的にわかりやすい日本語文章を書く技術（2日版）	わかりやすい論理的な文章を日本語で書くための技術を身に付けることができるコースです。論理的な文章の構造を理解したうえで、論理的な文章を書く手順に沿って、実際に文章構造を設計し、文章を書くことで、読み手にとってわかりやすい論理的な文章を書くことができるようになります。 また、日本語の特徴や日本文化の特徴から、文章をわかりにくくしている原因を理解し、解消策を学ぶことで、わかりやすい文章を日本語で書くことができるようになります。	2
	42	グローバル人材育成 ～異文化理解力～	日本は少子高齢化により、労働力不足と国内市場の縮小という危機に面しており、日本国内・海外を問わずに幅広いビジネスシーンで活躍するグローバル人材の育成が急務です。グローバル人材に必要なスキルという語学力中心に考えられがちですが、相手国の文化を理解せずにコミュニケーションすること一緒にビジネスすることもできません。語学力以上に重要な能力が他の国の文化を理解する異文化理解力です。 この研修では異文化理解に有効なカルチャーマップの概要とこれを活用したコミュニケーション戦略立案方法を学び実践することができます。	1

カテゴリー	No	コース名	研修概要	日数
階層別 研修	43	情報システムの過去・現在・未来を考える	情報システムは企業活動に欠かせないものとなっています。企業活動における情報システムの役割の変遷、現在の I T トrendを理解したうえで、これからの情報システム部門に求められる役割を自ら考え、明らかにすることを目的としたコースです。	1
	44	生産性を上げる働く技術	働き方改革に国を挙げて取り組まれています、残業時間削減を目的とした労働時間規制が中心です。しかし、労働時間を削減して売上が下がったり、外注費が増加したりしては困ります。単に労働時間を削減するのではなく、生産性を上げて労働時間を削減することがいま求められています。 日本の時間当たり労働生産性はOECD35カ国中20位、先進 7 カ国中最下位であり国際競争力面でも生産性を上げる必要があります。	0.5